

SPring-8 ユーザー協同体 2024 年度特別総会 議事録

日時：2024 年 9 月 6 日(金) 15 時 15 分～15 時 35 分

場所：九州大学医学部百年講堂大ホール

出席者：138 名

議事に先立って、藤原会長より挨拶があった。

報告事項

- 1) 久保田庶務幹事より、SPRUC の組織体制について説明があった（資料 1）。
- 2) 久保田庶務幹事より、行事報告があった。SPring-8 秋の学校は台風接近のため当初予定を変更してハイブリッドで開催したが、68 名の参加があった（資料 2）。
- 3) 久保田庶務幹事より、13th SPRUC Young Scientist Award の受賞者について報告があった（資料 3）。
- 4) 久保田庶務幹事より、2023 年度決算および 2024 年度予算執行状況について説明があった（資料 4）。
- 5) 久保田庶務幹事より、第 6 期研究会活動実績と第 7 期研究会活動開催状況について報告があった（資料 5）。研究会での動向調査の依頼と、研究会会合を JASRI と共催で SPring-8 先端利用技術ワークショップ開催とすることが勧められた。
- 6) 藤原会長より、SPring-8-II の早期実現要望について説明があった。各研究会を通して SPring-8-II の利用提案を募り、SPring-8-II 計画実現により期待される放射光研究の社会への貢献の視点から要望書を取りまとめた。今後、この資料は文部科学省、理化学研究所、高輝度光科学研究センターに提出し、SPRUC ホームページで公開する予定である旨説明があった（資料 6）。

審議事項

- 1) 藤原会長より、SPRUC と NanoTerasu ユーザー共同体との連携について説明があった。資料 7 に基づいて、両組織の連携検討の背景と検討状況、融合の利点、配慮すべき事項などが説明され、SPRUC と NanoTerasu ユーザー共同体の融合に向けた基本的方向性が示された。出席者の多数の賛成により融合に向けた基本的方向性が承認された。今後、融合に向けた具体的な検討を進めることとなった。

連絡事項

- 2) 久保田庶務幹事より、2024 年度活動実績と今後の予定について説明があった（資料 8）。

以上